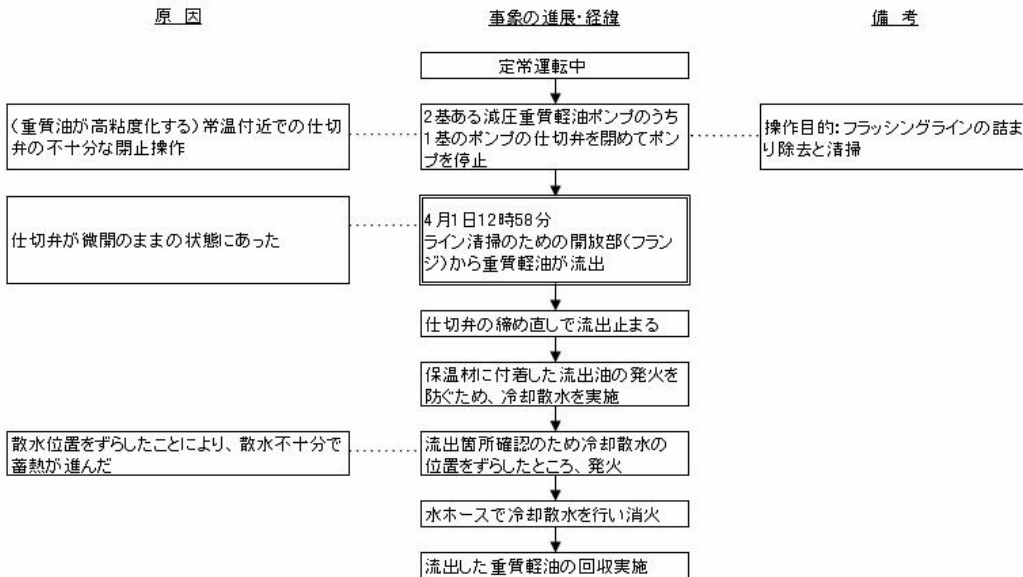




ポンプのフラッシングラインからの重質軽油漏洩により保温材より出火

事象進展図

00452	ポンプのフラッシングラインからの重質軽油漏洩により保温材より出火
発災年月日	2008年4月1日
装置	減圧蒸留装置
運転状況	定常運転中
特徴	仕切弁の閉止不良による重質油漏洩と漏洩油の保温材での蓄熱発火事例



再発防止策
1、常温付近で高粘度化する重質軽油が内在する配管仕切弁を閉止する場合は、高粘度化しない温度状態で閉止 2、作業標準の改訂および改訂内容に基づく教育の実施 3、関係者全員で作業環境設定状況を確認できるチェックシートの作成、活用
安全専門家コメント
1、重質油は常温付近では高粘度化し、バルブを閉じたつもりでも微開状態になる場合がある。特に、減圧蒸留装置の重質油を取り扱う場合は、同様な事例も多く、また、完全に閉止状態にあると思って、ドレンキャップを安易に取り外す際に、重質油が噴出するケースなどもあるので注意を要する。 2、流出した重質油が保温材に付着し染み込んだ場合は、容易には冷却されず、かつ、重質油を除去したつもりでも、完全に取れていない場合が多く、乾燥が進んだ後で自然発火する場合が多い。染み込んだ保温材は冷却後速やかに取り除き、冷却水没して処分するとともに、新しい保温材に取り替えるよう管理者は指導しなければならない。

引き金事象発生の原因
・重質油が高粘度化する常温付近での仕切弁の不十分な閉止操作

事故の引き金事象
仕切弁が微開状態でのフランジ開放

事故に関係した直接・間接要因
《人的要因》 作業確認不足・ミス



ポンプのフラッシングラインからの重質軽油漏洩により保温材より出火

添付資料・参考文献・キーワード

参考資料（文献など） 消防

▶ 添付資料

▶ キーワード(>同義語)

🔑 蓄熱

🔑 重質油

🔑 間接脱硫 > IDS,間脱,MHC,減圧軽油水素化脱硫,VGO-HDS

🔑 直接脱硫 > 直脱,LR-HDS,DDS,重油水素化脱硫,ARDS,RDS

🔑 重質油水素化脱硫装置 > 直脱,IDS,残油水素化脱硫装置,間接脱硫装置,間脱,直接脱硫装置,重脱,ゴーフアイナー

🔑 水素化分解装置 > ハイドロクラッキング

🔑 火災

🔑 高粘度化

🔑 遠心式ポンプ

🔑 仕切弁

🔑 保温材

🔑 ポンプ

🔑 冷却散水

▶ 関連情報